

5 決算審査等

知事からの審査依頼に基づき、決算等について審査しました。

1 決算審査

決算の数値が正しいか、予算の執行が適正で効率的に行われているかなどを審査しました。

○ 各会計歳入歳出決算審査

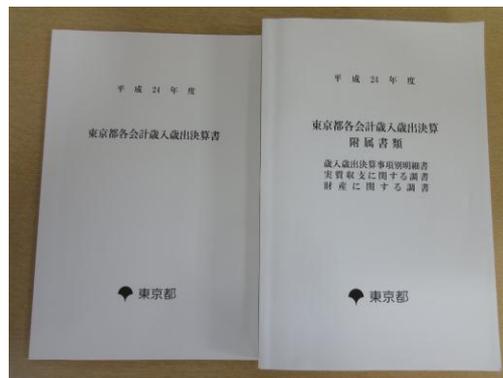
審査の対象 平成24年度東京都一般会計及び15の特別会計

審査の結果

- ・決算計数は誤りのないことが認められました。
- ・会計処理の一部、「財産に関する調書」の一部に誤りが認められました。

● 「財産に関する調書」の誤り

財産種別	登載状況	件数等
土地	過大登載	1万971.03 m ²
	登載漏れ	465.63 m ²
建物	過大登載	1,110万8,820.13 m ²
無体財産権	過大登載	1件
	登載漏れ	4件
出資による権利	登載漏れ	663万9,000円
物品	過大登載	17点
	登載漏れ	2点



決算書（左）と決算附属書類（右）

○ 公営企業各会計決算審査

審査の対象 ▶ 平成24年度東京都公営企業各会計（11会計）

審査の結果 ▶ 固定資産の計上誤りなど4件を除き、各会計の経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められました。

【誤りの内容】

- ・ 誤って収入調定を重複して行っていたにもかかわらず、誤調定分の更正処理を行っていないため、医業外未収金が5万3,836円過大となっていたもの
- ・ 年度末に現金（2万8,010円）を金庫に保管していたにもかかわらず、支払い済みとしていたため、現金が過小となっていたもの
- ・ 未しゅん工の構築物（68万2,000円）を、構築物に計上していたもの
- ・ 受領していた現金（22万5,890円）を翌年度に納入したため、営業外未収金が過大となっていたもの

2 基金運用状況審査

定額の資金を運用するため設置されている基金について、1年間の運用状況を示す調書が正しく作成されているか審査しました。

審査の対象 ▶ 東京都区市町村振興基金、東京都用品調達基金

審査の結果 ▶ 計数に誤りのないことが認められました。

3 健全化判断比率審査・資金不足比率審査

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、財政状況を表す指標について、算定が正しく行われているか審査しました。

審査の対象 ▶ 平成24年度健全化判断比率、平成24年度資金不足比率（12会計）

審査の結果 ▶ 各比率は以下のとおりとなっており、算定に誤りのないものと認められました。

○健全化判断比率

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
算定結果	— (赤字なし)	— (赤字なし)	1.0%	85.4%
早期健全化基準	5.69%	10.69%	25.0%	400.0%

○資金不足比率

	資金不足比率 (12会計とも)
算定結果	— (資金不足なし)
経営健全化基準	20.0%

※ 早期健全化基準・経営健全化基準

地方公共団体等の財政の状況が改善努力を要するかどうかを判断する基準。
算定結果の値がこの基準値以上の場合には、法により健全化計画を策定し、財政の健全化に努めることが求められます。